



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月30日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 正一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 千葉 昌 (TEL) 03(3231)6811
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	12,355	△11.4	685	△48.1	720	△47.4	435	△46.6
26年3月期第1四半期	13,947	5.3	1,321	17.3	1,369	11.9	815	18.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	15 40	—
26年3月期第1四半期	28 82	—

※当社は、平成26年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	90,825	78,847	86.8
26年3月期	93,137	79,018	84.8

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 78,847百万円 26年3月期 79,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20 00	—	20 00	40 00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	20 00	—	20 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の業績予想(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,900	—	2,700	—	2,800	—	1,600	—	56 54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※決算期変更の経過期間となる平成26年12月期の業績予想については、9ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)の予想数値を記載しております。

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2014年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年12月期1Q	28,800,000株	26年3月期	28,800,000株
-----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年12月期1Q	499,828株	26年3月期	499,758株
-----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年12月期1Q	28,300,185株	26年3月期1Q	28,300,926株
-----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了し、平成26年7月29日付で四半期レビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 訴訟の提起

業績予想については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	2
(3) 研究開発活動	2
(4) 業績予想などの将来予測情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりであります。

	平成26年3月期 第1四半期累計期間	平成26年12月期 第1四半期累計期間	増減額	増減率
売上高(百万円)	13,947	12,355	△1,591	△11.4%
営業利益(百万円)	1,321	685	△635	△48.1%
経常利益(百万円)	1,369	720	△649	△47.4%
四半期純利益(百万円)	815	435	△379	△46.6%

売上高は、消費税増税前の一時的な需要増に伴う反動減に加え、薬価改定の影響により12,355百万円と前年同期に比べ1,591百万円(11.4%)減少しました。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」は2,634百万円と前年同期に比べ662百万円(20.1%)減少したほか、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」は2,511百万円と前年同期に比べ637百万円(20.2%)減少しました。なお、平成25年5月に販売を開始しました「スタリビルド配合錠」については498百万円、本年5月に販売を開始しました「リオナ錠(高リン血症治療剤)」については271百万円となりました。

費用面におきましては、売上原価は売上高が減少したこと等により5,702百万円と前年同期に比べ456百万円(7.4%)減少し、販売費及び一般管理費は研究開発費が減少したこと等により5,966百万円と前年同期に比べ499百万円(7.7%)減少しました。

以上の結果、営業利益は685百万円と前年同期に比べ635百万円(48.1%)減少し、経常利益は720百万円と前年同期に比べ649百万円(47.4%)減少しました。四半期純利益につきましては435百万円と前年同期に比べ379百万円(46.6%)減少しました。

(2) 財政状態

当第1四半期会計期間末の総資産は、90,825百万円と前事業年度末に比べ2,312百万円(2.5%)減少しました。これは、商品及び製品が1,675百万円、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が640百万円増加しましたが、有価証券が2,201百万円、受取手形及び売掛金が2,081百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、11,978百万円と前事業年度末に比べ2,140百万円(15.2%)減少しました。これは、買掛金が584百万円増加しましたが、流動負債のその他に含まれる未払金が1,006百万円、未払法人税等が882百万円、賞与引当金が689百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、78,847百万円と前事業年度末に比べ171百万円(0.2%)減少しました。これは、主に利益剰余金が130百万円減少したことによるものです。

(3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は1,141百万円であります。

また、室内塵ダニアレルギー疾患を対象とした減感作療法(アレルギー免疫療法)薬「T0-203」(舌下錠)につきまして、本年6月にアレルギー性喘息に対する国内第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験の速報結果を発表しております。速報結果では、安全性および忍容性に関して、特に問題は認められませんでした。予め定められた有効性の主要評価項目において、T0-203投与群のプラセボ群に対する統計学的な優越性は確認できませんでした。今後、本試験結果を分析の上、対応を検討してまいります。なお、T0-203については、室内塵ダニアレルギー性鼻炎を対象とした国内第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験においては良好な結果を得ており、国内製造販売承認申請にむけて準備を進めております。

現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2014年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

(4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成26年4月24日「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を変更しております。

なお、この変更による影響はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	406	175
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	20,708	20,748
受取手形及び売掛金	24,167	22,085
有価証券	16,804	14,603
商品及び製品	4,504	6,179
仕掛品	624	656
原材料及び貯蔵品	2,900	2,915
その他	2,350	2,357
流動資産合計	72,466	69,722
固定資産		
有形固定資産	5,774	5,774
無形固定資産	622	641
投資その他の資産	14,273	14,686
固定資産合計	20,671	21,103
資産合計	93,137	90,825
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,382	6,967
未払法人税等	1,202	319
賞与引当金	1,345	656
役員賞与引当金	64	15
返品調整引当金	0	0
その他	4,340	3,244
流動負債合計	13,337	11,203
固定負債		
退職給付引当金	115	128
その他	666	646
固定負債合計	782	774
負債合計	14,119	11,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	67,814	67,684
自己株式	△860	△860
株主資本合計	78,560	78,430
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	457	416
評価・換算差額等合計	457	416
純資産合計	79,018	78,847
負債純資産合計	93,137	90,825

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	13,947	12,355
売上原価	6,159	5,702
売上総利益	7,788	6,652
販売費及び一般管理費		
販売促進費	873	830
給料及び手当	1,210	1,225
賞与引当金繰入額	535	551
研究開発費	1,655	1,141
その他	2,190	2,217
販売費及び一般管理費合計	6,466	5,966
営業利益	1,321	685
営業外収益		
受取利息	25	20
受取配当金	24	8
為替差益	—	2
その他	6	5
営業外収益合計	55	37
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	7	—
その他	0	2
営業外費用合計	7	2
経常利益	1,369	720
特別損失		
固定資産除却損	0	3
特別損失合計	0	3
税引前四半期純利益	1,368	716
法人税等	553	280
四半期純利益	815	435

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

2014年12月期 第1四半期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
II 2014年12月期 第1四半期実績	P.2
① 四半期損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 四半期貸借対照表	P.5
④ 設備投資の状況	P.6
⑤ 非資金項目	P.6
⑥ 研究開発の状況	P.6
III 2014年12月期 業績予想	P.7
① 損益計算書	P.7
② 製商品別売上高	P.9
③ 設備投資の状況	P.10
④ 非資金項目	P.10
⑤ 配当	P.10
【参考】	P.11
(6ヶ月情報)	
① 損益計算書	P.11
② 製商品別売上高	P.12
(12ヶ月情報)	
③ 損益計算書	P.13
④ 製商品別売上高	P.14
【将来に関する記述等についてのご注意】	P.15

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

2014年7月30日



鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

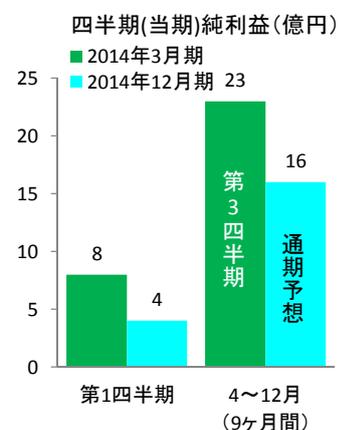
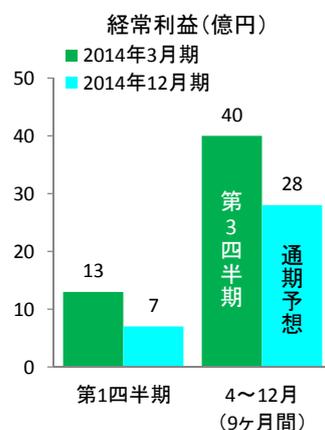
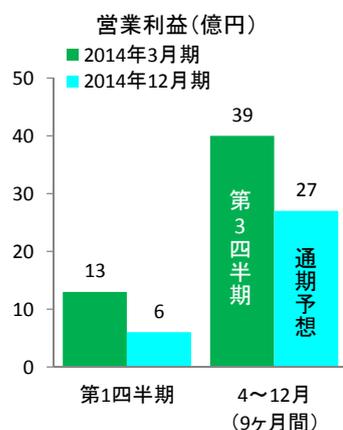
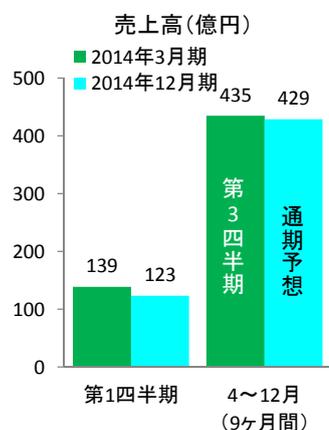
① 経営成績

(単位:百万円)	2014年3月期 第1四半期 A	2014年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2014年3月期 第3四半期実績	2014年12月期 通期予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	13,947	12,355	△1,591	△11.4	43,524	42,900	28.8
営業利益	1,321	685	△635	△48.1	3,986	2,700	25.4
経常利益	1,369	720	△649	△47.4	4,098	2,800	25.7
四半期(当期)純利益	815	435	△379	△46.6	2,378	1,600	27.2

※当社は、2014年6月25日開催の第122回定時株主総会において、定款一部変更の件が決議されたことに伴い、事業年度を毎年1月1日から12月31日まで（決算期は毎年12月31日）に変更いたしました。従いまして、決算期変更の経過期間となる2014年12月期については、9ヶ月間（2014年4月1日～2014年12月31日）の予想数値を記載しております。また、参考として2014年3月期第3四半期（2013年4月1日～2013年12月31日）の実績数値を記載しております。

(参考)

研究開発費	1,655	1,141	△513	△31.0	5,184	4,350	26.2
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 28.82	15.40	△13.42		84.03	56.54	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 1.1	0.6	△0.5		3.1	-	
総資産経常利益率	(%) 1.5	0.8	△0.7		4.5	-	
売上高営業利益率	(%) 9.5	5.5	△4.0		9.2	-	
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 0.9	0.5	△0.4		2.6	-	



② 財政状態

(単位:百万円)	2014年3月期 A	2014年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	93,137	90,825	△2,312	△2.5
純資産	79,018	78,847	△171	△0.2
自己資本比率	(%) 84.8	86.8	2.0	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 2,792.14	2,786.10	△6.04	

Ⅱ 2014年12月期 第1四半期実績

① 四半期損益計算書

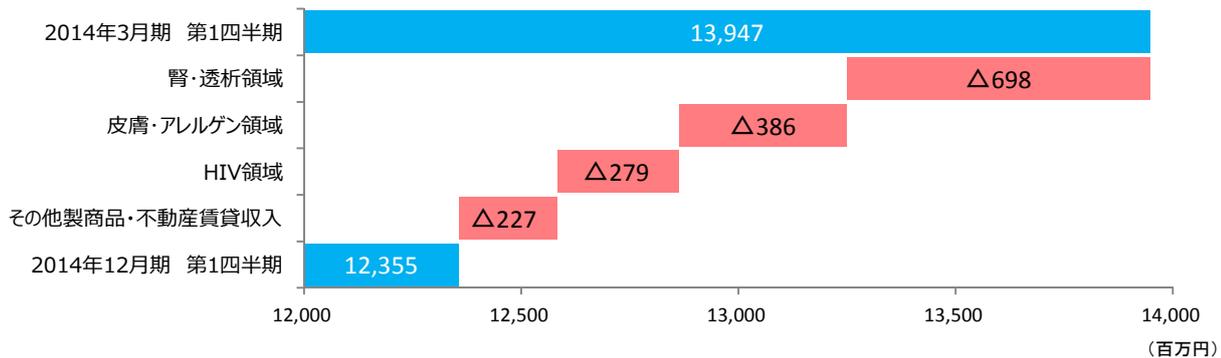
(単位:百万円)	2014年3月期	2014年12月期	増減額	増減率 (%)
	第1四半期	第1四半期		
	A	B	B-A	(B-A)/A
売上高	13,947	12,355	△1,591	△11.4
製商品売上高	13,891	12,298	△1,592	△11.5
腎・透析領域	5,482	4,783	△698	△12.7
皮膚・アレルギー領域	3,306	2,920	△386	△11.7
HIV領域	3,373	3,094	△279	△8.3
その他	1,728	1,500	△228	△13.2
不動産賃貸収入	56	56	0	0.7
売上原価	6,159	5,702	△456	△7.4
製商品売上原価	6,144	5,688	△456	△7.4
不動産賃貸原価	14	14	△0	△0.4
売上総利益	7,788	6,652	△1,135	△14.6
販売費及び一般管理費	6,466	5,966	△499	△7.7
販管費(研究開発費除く)	4,811	4,825	13	0.3
研究開発費	1,655	1,141	△513	△31.0
営業利益	1,321	685	△635	△48.1
営業外収益	55	37	△18	-
営業外費用	7	2	△5	-
経常利益	1,369	720	△649	△47.4
特別損失	0	3	2	-
税引前四半期純利益	1,368	716	△652	△47.6
法人税等	553	280	△272	△49.2
四半期純利益	815	435	△379	△46.6

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2014年3月期	2014年12月期	増減
	第1四半期	第1四半期	
	A	B	B-A
売上原価	44.2	46.2	2.0
販売費及び一般管理費	46.3	48.3	2.0
研究開発費	11.9	9.2	△2.7
営業利益	9.5	5.5	△4.0
経常利益	9.8	5.8	△4.0
四半期純利益	5.8	3.5	△2.3

【対前年同期実績増減要因】

売上高（12,355百万円 対前年同期△1,591百万円）

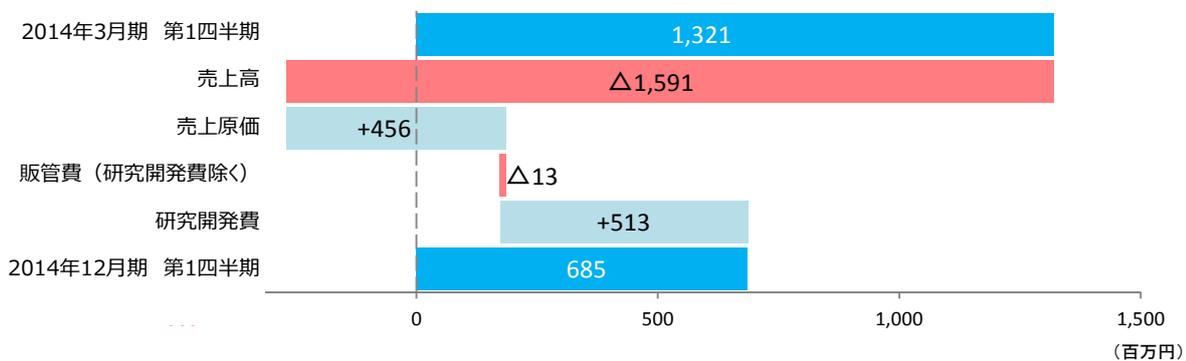


主な増減要因

腎・透析領域	レミッチカプセル	△662百万円	ユリノーム錠	△159百万円
	注射用フサン	△143百万円	リオナ錠	+271百万円
皮膚・アレルギー領域	アンテベート	△153百万円	トボネックス軟膏	△107百万円
HIV領域	ツルバダ配合錠	△637百万円	スタビルド配合錠	+379百万円

※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照

営業利益（685百万円 対前年同期△635百万円）



主な増減要因

売上原価	: 売上高の減少、薬価改定に伴う原価率の上昇
研究開発費	: 臨床試験費用（TO-203）の減少

経常利益（720百万円 対前年同期△649百万円）

特記事項：特になし

四半期純利益（435百万円 対前年同期△379百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2014年3月期 第1四半期 A	2014年12月期 第1四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	13,891	12,298	△1,592	△11.5
レミッチカプセル	3,297	2,634	△662	△20.1
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	3,148	2,511	△637	△20.2
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
アンテベート ※1	1,866	1,712	△153	△8.2
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
注射用フサン ※1	978	835	△143	△14.6
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ケイキサレート ※1	561	557	△4	△0.7
高カウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
ビオスリー	498	502	3	0.8
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
スタビルド配合錠 ※2	118	498	379	321.4
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
コリノーム錠 ※1	643	483	△159	△24.8
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
トボネックス軟膏	501	393	△107	△21.5
尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]				
ロコイド ※1	391	362	△29	△7.5
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
ゼフナート	434	359	△74	△17.1
抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]				
マグセント	316	271	△44	△14.1
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
リオナ錠 ※3	—	271	271	—
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
その他製商品	1,133	903	△230	△20.4

※1 自社品

※2 「スタビルド配合錠」は、2013年5月から販売を開始しております。

※3 「リオナ錠」は、本年5月から販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2014年3月期 第1四半期 A	2014年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	4,983	4,415	△568	△11.4
自社品比率 (%)	35.9	35.9	0.0	—

③ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)	2014年3月期	2014年12月期	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
	A	第1四半期 B			
流動資産	72,466	69,722	△2,744	△3.8	76.8
現金及び預金	406	175	△230		
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	20,708	20,748	40		
受取手形及び売掛金	24,167	22,085	△2,081		
有価証券	16,804	14,603	△2,201		
たな卸資産	8,029	9,751	1,722		
その他	2,350	2,357	6		
固定資産	20,671	21,103	432	2.1	23.2
有形固定資産	5,774	5,774	0		
無形固定資産	622	641	19		
投資その他の資産	14,273	14,686	413		
投資有価証券	6,708	7,348	640		
長期前払費用	5,920	5,687	△232		
その他	1,644	1,650	5		
資産合計	93,137	90,825	△2,312	△2.5	100.0
流動負債	13,337	11,203	△2,133	△16.0	12.3
買掛金	6,382	6,967	584		
未払金	2,998	1,991	△1,006		
未払法人税等	1,202	319	△882		
賞与引当金	1,345	656	△689		
その他	1,407	1,268	△138		
固定負債	782	774	△7	△1.0	0.9
負債合計	14,119	11,978	△2,140	△15.2	13.2
株主資本	78,560	78,430	△130	△0.2	86.4
評価・換算差額等	457	416	△40	△8.9	0.4
純資産合計	79,018	78,847	△171	△0.2	86.8
負債純資産合計	93,137	90,825	△2,312	△2.5	100.0

主な増減要因

(流動資産)

- 受取手形及び売掛金 : 売上高の減少(前期 消費税増税前の一時的な需要増)による減少
- 有価証券 : 金銭信託の償還による減少、投資有価証券からの振替による増加
- たな卸資産 : 商品の増加

(固定資産)

- 投資有価証券 : 債券の取得による増加、有価証券への振替による減少

(流動負債)

- 買掛金 : 商品仕入の増加による増加

④ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2014年3月期 第1四半期 A	2014年12月期 第1四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
設備投資額	201	288	87	43.6
有形固定資産	173	218	44	25.5
無形固定資産	27	70	43	158.6

当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資
無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

⑤ 非資金項目

(単位:百万円)	2014年3月期 第1四半期 A	2014年12月期 第1四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
減価償却費	235	264	29	12.4
長期前払費用償却費	192	241	49	25.5

⑥ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
皮膚・アレルギー領域								
TO-194SL 「シダトレン スギ花粉舌下液」	スギ花粉症 (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下液					承認	・自社開発 ・2014年1月17日に製造販売承認取得
TO-203	室内塵ダニアレルギー疾患 (喘息およびアレルギー性鼻炎) (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠					申請 準備中 (鼻炎)	・ALK社と日本における独占的開発・販売権 に関するライセンス契約を締結 ・自社開発
TO-204	室内塵ダニアレルギー疾患 (喘息およびアレルギー性鼻炎) (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	注射剤					申請	・ALK社と日本における独占的開発・販売権 に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・2013年12月24日に製造販売承認申請
TO-205	アレルギー性疾患のアレルゲンの確認 (アレルゲン検査薬 (室内塵ダニ))	注射剤					申請	・ALK社と日本における独占的開発・販売権 に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・2013年12月24日に製造販売承認申請
TO-206	スギ花粉症 (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠	Phase I					・自社開発
JTE-350	アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コントロール (ヒスタミン二塩酸塩製剤)	注射剤					申請 準備中	・ALK社と日本における独占的開発・商業化 権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発

※ 厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」における開発企業募集品であります。

前回公表時 (2014年4月24日) からの変更点: TO-203は、室内塵ダニアレルギー疾患(アレルギー性鼻炎)の適応症で国内製造販売承認申請準備中

Ⅲ 2014年12月期 業績予想

※当社は、2014年6月25日開催の第122回定時株主総会において、定款一部変更の件が決議されたことに伴い、事業年度を毎年1月1日から12月31日まで（決算期は毎年12月31日）に変更いたしました。従いまして、決算期変更の経過期間となる2014年12月期については、9ヶ月間（2014年4月1日～2014年12月31日）の予想数値を記載しております。また、参考として2014年3月期第3四半期（2013年4月1日～2013年12月31日）の実績数値との比較を記載しております。

※2014年12月期 業績予想については、2014年4月24日「2014年3月期決算 参考資料」で発表しております予想数値から変更はありません。

① 損益計算書

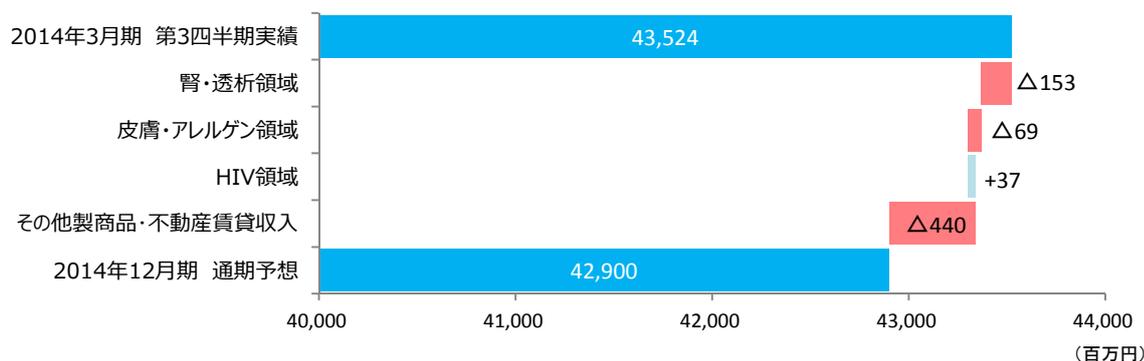
(単位:百万円)	2014年3月期	2014年12月期	増減額	増減率 (%)
	第3四半期実績 A	通期予想 B		
売上高	43,524	42,900	△624	△1.4
製商品売上高	43,356	42,730	△626	△1.4
腎・透析領域	17,583	17,430	△153	△0.9
皮膚・アレルギー領域	9,659	9,590	△69	△0.7
HIV領域	10,952	10,990	37	0.3
その他	5,161	4,720	△441	△8.5
不動産賃貸収入	168	170	1	1.0
売上原価	19,457	20,000	542	2.8
売上総利益	24,066	22,900	△1,166	△4.8
販売費及び一般管理費	20,080	20,200	119	0.6
販管費（研究開発費除く）	14,896	15,850	953	6.4
研究開発費	5,184	4,350	△834	△16.1
営業利益	3,986	2,700	△1,286	△32.3
経常利益	4,098	2,800	△1,298	△31.7
当期(四半期)純利益	2,378	1,600	△778	△32.7

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2014年3月期	2014年12月期	増減
	第3四半期実績 A	通期予想 B	
売上原価	44.7	46.6	1.9
販売費及び一般管理費	46.1	47.1	1.0
研究開発費	11.9	10.1	△1.8
営業利益	9.2	6.3	△2.9
経常利益	9.4	6.5	△2.9
当期(四半期)純利益	5.5	3.7	△1.8

【対前年同一期間（2014年3月期第3四半期）実績増減要因】

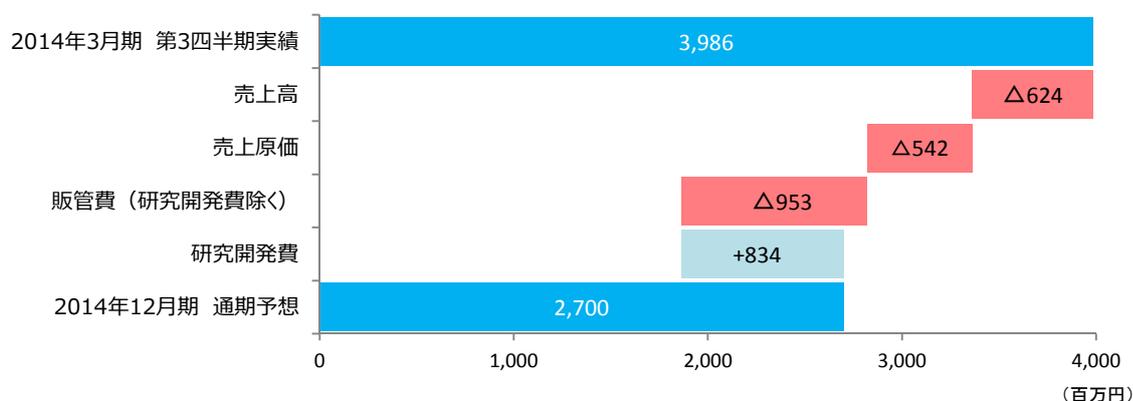
売上高（42,900百万円 対前年同一期間実績△624百万円）



主な増減要因

腎・透析領域	：リオナ錠 +1,500百万円	、レミッチカプセル △712百万円
	注射用フサン △518百万円	、ユリノーム錠 △459百万円
皮膚・アレルギー領域	：アンテベート △415百万円	
HIV領域	：スタビルド配合錠 +1,263百万円	、ツルバダ配合錠 △1,140百万円
※詳細はP.9「② 製商品別売上高」を参照		

営業利益（2,700百万円 対前年同一期間実績△1,286百万円）



主な増減要因

売上原価	：販売品目の構成変化、薬価改定に伴う原価率の上昇
販管費（研究開発費除く）	：新製品に係るプロモーション費用、給料及び手当の増加
研究開発費	：臨床試験費用の減少

経常利益（2,800百万円 対前年同一期間実績△1,298百万円）

特記事項：特になし

当期(四半期)純利益（1,600百万円 対前年同一期間実績△778百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2014年3月期 第3四半期実績 A	2014年12月期 通期予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	43,356	42,730	△626	△1.4
レミッチカプセル 経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]	10,612	9,900	△712	△6.7
ツルバダ配合錠 抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]	9,940	8,800	△1,140	△11.5
アンテベート ※1 外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]	5,535	5,120	△415	△7.5
注射用フサン ※1 蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]	3,288	2,770	△518	△15.8
スタビルド配合錠 ※2 抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]	696	1,960	1,263	181.5
ケイキサレート ※1 高カルウム血症改善剤 [腎・透析領域]	1,762	1,800	37	2.1
ビオスリー 活性生菌製剤(整腸剤) [その他]	1,563	1,700	136	8.8
リオナ錠 ※3 高リン血症治療剤 [腎・透析領域]	—	1,500	1,500	—
ユリノーム錠 ※1 尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]	1,919	1,460	△459	△23.9
ドボネックス軟膏 尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]	1,426	1,320	△106	△7.5
ゼフナート 抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]	1,309	1,300	△9	△0.7
マグセント 切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]	1,018	1,030	11	1.2
ロコイド ※1 外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]	1,064	1,000	△64	△6.1
その他製商品	3,218	3,070	△148	△4.6

※1 自社品

※2 「スタビルド配合錠」は、2013年5月から販売を開始しております。

※3 「リオナ錠」は、本年5月から販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2014年3月期 第3四半期実績 A	2014年12月期 通期予想 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	15,124	14,080	△1,044	△6.9
自社品比率 (%)	34.9	33.0	△1.9	—

③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2014年3月期	2014年12月期	増減額	増減率 (%)
	第3四半期実績 A	通期予想 B		
設備投資額	990	1,579	588	59.4
有形固定資産	888	997	108	12.2
無形固定資産	102	582	479	467.6

設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資

無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

④ 非資金項目

(単位:百万円)	2014年3月期	2014年12月期	増減額	増減率 (%)
	第3四半期実績 A	通期予想 B		
減価償却費	795	935	139	17.5
長期前払費用償却費	627	654	26	4.2

⑤ 配当

		2014年3月期	2014年12月期	増減	増減率 (%)
		通期 A	通期予想 B		
1株当たり配当金	(円)	40	40	0	0.0
配当性向	(%)	33.8	70.8	37.0	-

【参考】

(6ヶ月情報)

① 損益計算書

(単位:百万円)	2013年	2014年	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	1~6月 A	1~6月 B		
売上高	25,714	26,940	1,226	4.8
製商品売上高	25,601	26,828	1,226	4.8
腎・透析領域	10,232	10,913	680	6.7
皮膚・アレルギー領域	5,983	5,771	△211	△3.5
HIV領域	6,226	7,200	974	15.6
その他	3,159	2,942	△216	△6.9
不動産賃貸収入	112	111	△0	△0.5
売上原価	11,428	12,511	1,082	9.5
売上総利益	14,285	14,428	143	1.0
販売費及び一般管理費	13,329	12,741	△587	△4.4
販管費(研究開発費除く)	9,687	10,121	433	4.5
研究開発費	3,641	2,620	△1,021	△28.0
営業利益	956	1,687	731	76.5
経常利益	1,009	1,746	736	73.0
四半期純利益	772	1,410	637	82.5

売上高に対する比率

(単位:%)	2013年	2014年	増減
	1~6月 A	1~6月 B	
売上原価	44.4	46.4	2.0
販売費及び一般管理費	51.8	47.3	△4.5
研究開発費	14.2	9.7	△4.5
営業利益	3.7	6.3	2.6
経常利益	3.9	6.5	2.6
四半期純利益	3.0	5.2	2.2

<6ヶ月間の計算方法>

・2013年1~6月

2013年1~3月(2013年3月期第4四半期実績(12ヶ月) - 2013年3月期第3四半期実績(9ヶ月))
+ 2013年4~6月(2014年3月期第1四半期実績)

・2014年1~6月

2014年1~3月(2014年3月期第4四半期実績(12ヶ月) - 2014年3月期第3四半期実績(9ヶ月))
+ 2014年4~6月(2014年12月期第1四半期実績)

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2013年 1~6月 A	2014年 1~6月 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	25,601	26,828	1,226	4.8
レミッチカプセル	6,100	7,041	941	15.4
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	5,897	5,999	101	1.7
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
アンテベート ※1	3,442	3,319	△122	△3.6
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
注射用フサン ※1	1,891	1,567	△323	△17.1
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ケイキサレート ※1	1,032	1,073	40	4.0
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
スタビルド配合錠 ※2	118	1,022	903	764.6
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
ビオスリー	947	1,005	58	6.2
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ユリノーム錠 ※1	1,208	959	△248	△20.6
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
ドボネックス軟膏	930	874	△55	△6.0
尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]				
ロコイド ※1	711	688	△22	△3.2
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
ゼフナート	666	664	△2	△0.3
抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]				
マグセント	547	502	△44	△8.2
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
リオナ錠 ※3	-	271	271	-
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
その他製商品	2,107	1,837	△269	△12.8

※1 自社品

※2 「スタビルド配合錠」は、2013年5月から販売を開始しております。

※3 「リオナ錠」は、本年5月から販売を開始しております。

(12ヶ月情報)

③ 損益計算書

(単位:百万円)	2013年 1~12月 A	2014年 1~12月 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
売上高	55,291	57,485	2,193	4.0
製商品売上高	55,067	57,259	2,192	4.0
腎・透析領域	22,333	23,560	1,226	5.5
皮膚・アレルギー領域	12,336	12,441	104	0.9
HIV領域	13,804	15,096	1,291	9.4
その他	6,592	6,162	△429	△6.5
不動産賃貸収入	224	225	0	0.3
売上原価	24,727	26,809	2,081	8.4
売上総利益	30,564	30,675	111	0.4
販売費及び一般管理費	26,942	26,974	31	0.1
販管費(研究開発費除く)	19,772	21,146	1,373	6.9
研究開発費	7,170	5,828	△1,342	△18.7
営業利益	3,621	3,701	80	2.2
経常利益	3,738	3,825	87	2.3
当期純利益	2,335	2,574	239	10.3

売上高に対する比率

(単位:%)	2013年 1~12月 A	2014年 1~12月 B	増減 B-A
売上原価	44.7	46.6	1.9
販売費及び一般管理費	48.7	46.9	△1.8
研究開発費	13.0	10.1	△2.9
営業利益	6.5	6.4	△0.1
経常利益	6.8	6.7	△0.1
当期純利益	4.2	4.5	0.3

中期経営計画 2015年度目標への推移

(単位:百万円)	2013年 1~12月	2014年 1~12月	目標 2015年 1~12月
売上高	55,291	57,485	63,000
営業利益	3,621	3,701	5,500
当期純利益	2,335	2,574	3,500

※ 当社は、2014年6月25日開催の第122回定時株主総会において、定款一部変更の件が決議されたことに伴い、事業年度を毎年1月1日から12月31日までに変更いたしました。2015年度目標については2013年4月25日公表数値と変更ありません。

<12ヶ月間の計算方法>

・2013年1~12月

2013年1~3月(2013年3月期第4四半期実績(12ヶ月) - 2013年3月期第3四半期実績(9ヶ月))
+ 2013年4~12月(2014年3月期第3四半期実績)

・2014年1~12月

2014年1~3月(2014年3月期第4四半期実績(12ヶ月) - 2014年3月期第3四半期実績(9ヶ月))
+ 2014年4~12月(2014年12月期通期予想)

④ 製商品別売上高

(単位:百万円)	2013年 1~12月 A	2014年 1~12月 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	55,067	57,259	2,192	4.0
レミッチカプセル	13,415	14,307	891	6.6
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	12,690	12,287	△402	△3.2
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
アンテベート ※1	7,111	6,726	△384	△5.4
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
注射用フサン ※1	4,201	3,501	△699	△16.7
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
スタリビルド配合錠 ※2	696	2,483	1,787	256.7
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
ケイキサレート ※1	2,233	2,315	82	3.7
高カルウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
ビオスリー	2,012	2,203	191	9.5
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ユリノーム錠 ※1	2,483	1,935	△548	△22.1
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
ドボネックス軟膏	1,855	1,800	△54	△3.0
尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]				
ゼフナート	1,541	1,604	62	4.1
抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]				
リオナ錠 ※3	-	1,500	1,500	-
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
ロコイド ※1	1,384	1,326	△58	△4.2
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
マグセント	1,249	1,260	11	0.9
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
その他製商品	4,191	4,004	△186	△4.5

※1 自社品

※2 「スタリビルド配合錠」は、2013年5月から販売を開始しております。

※3 「リオナ錠」は、本年5月から販売を開始しております。

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おさください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げるすることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 訴訟の提起